レジメン名

weekly PTX + Ramcirumab

出典　サイラムザ適正使用ガイド
Lancet Oncol.2014 Oct;15(11):1224-35
サイラムザ添付文書2020年11月改訂

実施部署区分

■入院　■外来　□処置

対象疾患

胃がん

■進行・再発
□補助療法（術前・術後）
□
□

■各サイクル（Day 1,8,15）におけるパクリタキセルの主な投与基準

項目	投与基準
好中球数	各サイクル 1 日目：≥1.5 x 10^9/L 各サイクル 8 日目及び 15 日目：≥1.0 × 10^9/L
血小板数	各サイクル 1 日目：≥100 x 10^9/L 各サイクル 8 日目及び 15 日目：≥75 × 10^9/L
ビリルビン	≤実施医療機関の基準上限値の 1.5 倍
AST/ALT	肝転移がない場合：≤実施医療機関の基準上限値の 3 倍 肝転移がある場合：≤実施医療機関の基準上限値の 5 倍

■パクリタキセルの主な減量基準

有害事象	処置
グレード[注] 4 の血液毒性 又は グレード[注] 3 の非血液毒性	初回：次回サイクルより 10mg/m^2 減量 毒性が続く又は再発した場合：次回サイクルよりさらに 10mg/m^2 減量

注）有害事象共通用語規準（ver.4.0）

1コース期間　28日
（次のコースまでの標準期間）

総コース数　PDまで

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度（時間）	投与日(d1、d8等)
ラムシルマブ（サイラムザ）	8mg/kg	生食250mL	60分※	day1, 15
※初回60分で忍容性が良好であれば2回目以降は30分まで投与時間の短縮可能				
パクリタキセル	80mg/m^2	生食250mL	60分	day1, 8, 15

1日投与順
（経時的にﾌﾟﾚﾒﾃﾞｨｹｰｼｮﾝ・ﾎﾟｽﾄﾒﾃﾞｨｹｰｼｮﾝ、溶解液まで含む）

day1, 15
①ファモチジン20mg＋デキサート6.6mg＋ポララミン5mg＋生食100mL（15分）
②グラニセトロンバッグ（30分）
③サイラムザ8mg/kg＋生食250mL（60分※）（2回目以降30分まで短縮可）
ｲﾝﾗｲﾝﾌｨﾙﾀｰを用いて投与
④生食100mL(60分)（3コース目以降省略可）
⑤ﾊﾟｸﾘﾀｷｾﾙ80mg/m^2＋生食250mL（60分）
DEHPフリーのｲﾝﾗｲﾝﾌｨﾙﾀｰを用いて投与
⑥生食50mL（フラッシュ用）

day8
①ファモチジン20mg＋デキサート6.6mg＋ポララミン5mg＋生食100mL（15分）
②グラニセトロンバッグ（30分）
③ﾊﾟｸﾘﾀｷｾﾙ80mg/m^2＋生食250mL（60分）
DEHPフリーのｲﾝﾗｲﾝﾌｨﾙﾀｰを用いて投与
④生食50mL（フラッシュ用）